

共同生活を体験

芦田 彩希

私は成人式のために早めに期末テストを終わらせ一時帰国をしました。その際に中国ならではの共同生活を体験する機会があり、たくさんの中国の方に助けていただきました。

太原駅から北京まで动车（ドンチャー）と呼ばれる新幹線型車両に乗って行きました。日本の新幹線と同じように快適で、太原からは約3時間半かかりました。中国人の友人によると、太原にもう一つ駅ができるそうです。行き帰りの滞在は民宿で4泊しました。地下鉄からその家を探していると同じような建物がたくさんあり、どの通りにあるのかわからなくなってしまい、若い人たちに尋ねてみると、一緒に行つてあげるとわざわざ案内してくれました。その家には3部屋各部屋に2段ベッドがいくつかあり、長期滞在している人も含め10人前後滞在しており、家にはお風呂やトイレが一つしかないので順番に利用し、朝は他の誰かが起きれば起きてしまうことがありました。私は自分の中国語にまだ自信がなかったのであまり自分からは話しかけたりしませんでした。同じ部屋の人たちは積極的に話しかけてくれました。中には兄弟が日本に留学したことがある人がいたり、約4か月でそんなに話せるのはすごいねと褒めてくれました。中国の学生は一般的に学校の寮で4人から8人部屋で生活していて、日本語学科の友人に部屋を見せてもらったことがあります。今回の民宿で中国の学生はこのような生活をしているのだなと実感することができました。家主の方に何時の动车で帰るか話していた時に、私はタクシーを利用するつもりと言ったのを聞いた同じ部屋の方がバスは便利だよと教えてくれました。その方はバス停まで送ってくれ、バスが来るとバス代まで出してくれ、優しさにとっても感動しました。

去年の3月に日本の大学のプログラムで北京を訪れたことがありましたが、少し言葉が聞き取れると違う風景に感じられました。今回留学してから初めて1人で長距離を移動し宿泊をしましたが、色々な人に助けられ、とてもいい経験ができたと思いました。

・ 太原駅



・ お茶屋では様々なお茶を試飲できます。

